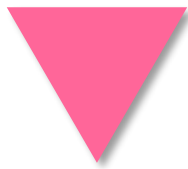


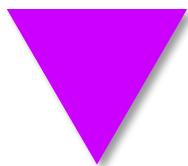
JINYAMA 2022



陣山校区 第一次

ふくしのまちづくり計画

みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり



2026

ごあいさつ

陣山校区社会福祉協議会は「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の下に、関係する地域団体と連携して子どもから高齢者まで幅広く各事業に取り組んでまいりました。

なかでも、住民主体の地域福祉の要「ふれあいネットワーク活動」は1994（平成6）年から実施していて、サロン事業は各町内会単位で開催しており、町内会長と福祉協力員が中心となってきめ細やかな対応ができております。

このたび、「小地域福祉活動計画」を策定するにあたり、関係者により何度も協議を重ねて活動の実践計画がまとまり当校区の指針が確立されました。

当校区の高齢化率は37%で八幡西区の30%を大きく上回り、特に人口5,072名の中でも、14歳以下の子どもは534名と少数が顕著になっています。（2021（令和3）年9月末現在）

しかしながら、交通や生活上の利便性は高く、徐々にマンション等が増えているところです。また、地域福祉活動を担う社会福祉協議会と各地域団体との連携・協働は良好であり、「小地域福祉活動計画」の推進に地域全体で目標を達成するために鋭意努力してまいります。

結びに、この計画の策定にあたり、関係者の皆様の絶大なご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

2022（令和4）年3月



陣山校区社会福祉協議会
会長 花田 寿賀子

も く じ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 陣山校区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	6
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	7
1 策定委員会名簿	
2 策定委員会での協議事項	

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、陣山校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、陣山校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 陣山校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有した計画です。

2 計画の期間

2022（令和4）年度～2026（令和8）年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

陣山校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、陣山校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、陣山校区小地域福祉活動計画を策定しました。



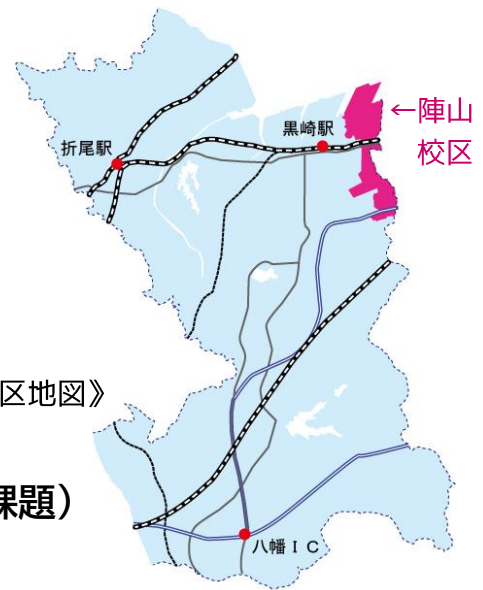
第2章 陣山校区の現状と課題

1 地域の特性

人 口	5,072人	小 学 校	黒崎中央小学校
世 帯 数	2,860世帯	中 学 校	花尾中学校
高 齢 化 率	37.0%	公民館・市民センター	陣山市民センター
一人暮らし高齢者数	1,876人	地域包括支援センター	八幡西4

令和3年9月30日現在

陣山校区は、副都心黒崎に隣接し八幡東区と境を接する地域で、国道3号線、JR鹿児島本線を挟んでいます。交通の便は非常によく、商業施設や病院、消防署があり生活環境にも恵まれています。住宅地は高台や狭い道路に面したところや一方通行の道路が多くあります。



《八幡西区地図》

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

●福祉に関心をもってもらいたい

- ・ 少子高齢化や住民同士のつながりが希薄な中、さまざまな福祉の困りごとを抱えた人が増えています。陣山で起きている福祉の課題にもっと関心をもってもらい、自分の地域の問題は自分たちで解決する風土づくりを広げたいと思っています。

●社協のことを知ってもらいたい

- ・ 社会福祉協議会は高齢者や子ども、障害をお持ちの方や経済的困窮の方、さまざまな福祉の困りごとを抱えている人を地域住民で支え合う活動を行っています。社協の活動や想いを知っていただく事で、若い活動者や応援者を増やしたいと思っています。

●いろんな人が集える交流の場を増やしたい

- ・ 陣山校区では集会所や市民センターなどを活用して14全町会でサロン活動を行ったり、子育て支援や世代間交流を行ったりしています。誰もが気軽に集える場を身近な場所に増やすことで住民同士のつながりを強化したいと思っています。



第3章 計画体系

1 基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

陣山校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。その実現に向けて、基本理念と3つの基本目標、そして9つの取組みを定めました。

2 基本目標

(1) あなたの声を出そう！聞こう！輪を広げよう！！

地域住民一人ひとりに「福祉や社協への関心」を持ってもらうため、誰にでも分かりやすく伝わる広報活動に加え、地域福祉活動の担い手の確保のため、福祉を学ぶ場の提供や人材確保に取り組みます。

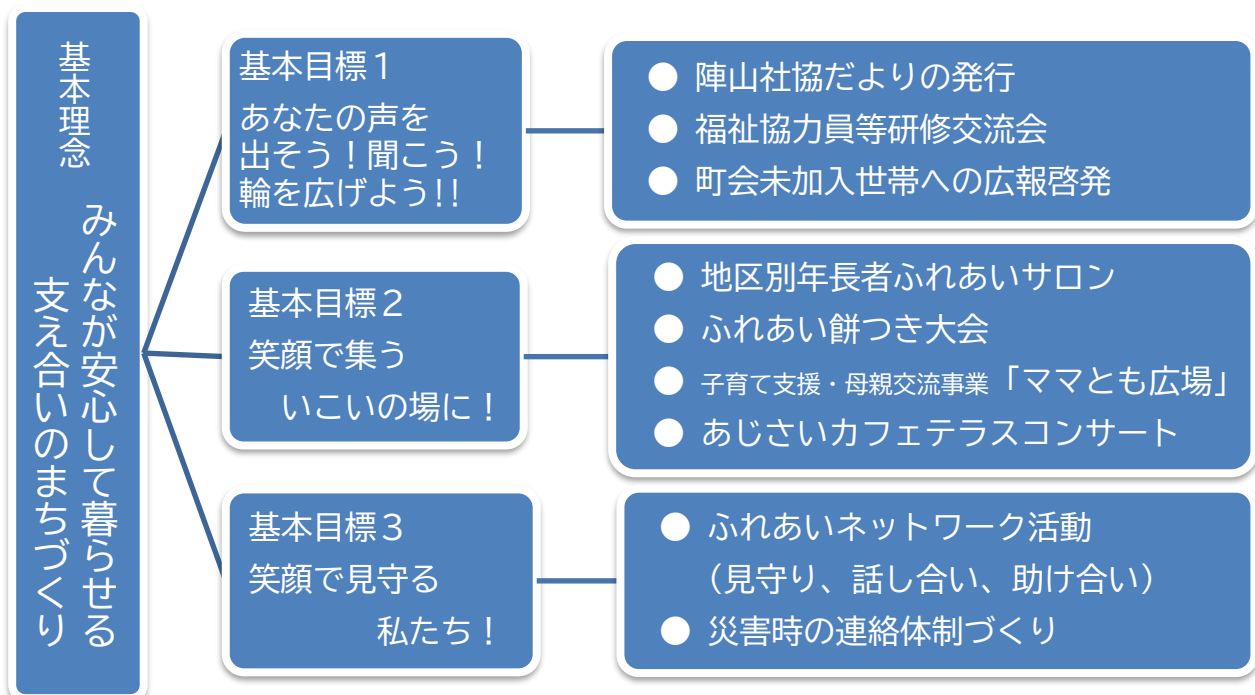
(2) 笑顔で集ういこいの場に！

子どもから高齢者、子育て世代、障害のある方など誰もが気軽に集まり話せる場としてのサロンや行事を開催します。また、困りごとを受け止める場としての体制づくりを行います。

(3) 笑顔で見守る私たち！

住民の抱える様々な福祉の困りごとに対して、地域住民同士で支え合う「ふれあいネットワーク活動」に取り組み、ふだんの暮らしからいざという時、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係団体・機関と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次の2つのことを推進していくことにしました。

重点実施項目		地域福祉の活動者・応援者を増やします						
1 課題背景及び現状								
陣山校区の高齢化率は 37%です。地域の福祉活動を担う、福祉協力員の高齢化や不足も進んでいます。								
2 活動の方針・目標								
多くの人に陣山校区の地域福祉活動について知ってもらうため、広報活動の充実を図り、福祉協力員などの若い人材の確保に取り組みます。								
3 段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考	
社協だよりでの企業広告（PR）の検討・実施	団体や企業	→		→			当初2ヶ年を検討期間、その後3ヶ年を実施期間とする	
社協だよりやチラシの配布場所の拡大を図る	郵便局、開業医、薬局など	→						業種ごとに単年度ずつ拡充
配布数増に伴う企業からの協賛金の検討	企業	→						
町会加入者以外へ社協だよりやチラシの配布	まち協 民児協				→			
リアルな情報の掲載	行政 まち協 民児協	→			→			
広報部員の増員 取材の充実	小学校・ 中学校の 保護者 (PTA)	→			→			



重点実施項目	いろいろな場所でいろいろな人が集える場を増やします						
1 課題背景及び現状							
サロンを開く場所やいろいろな人が集える場所が少なくなり、住民同士のつながる機会が減ってきています。							
2 活動の方針・目標							
子どもから高齢者、子育て世代、障害のある方など、誰もが気軽に集まれる居場所づくりに取り組みます。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考
社協サロンの活動場所の確保	企業、社会福祉施設、個人	→					
予算確保のためのアンケート実施	サロン参加者	→					
サロン有料化の検討	—			●			
事業のネーミングを参加しやすいものに変えて、若い人の参加拡大	—	→					
各事業の内容・演目を考える	—	●		●		●	
広報・啓発（各行事の周知チラシ作成）	—	→					



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布等を通じた校区住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、陣山校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

陣山校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、PLAN(計画立案) DO(実行) CHECK(点検・評価) ACT(改善)というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料 【陣山校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 陣山校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	花田 寿賀子	陣山校区社会福祉協議会	会長	策定委員長
2	藤川 秀美	黒崎第一自治区会	会長	
3	伊藤 憲司	黒崎第二自治区会	副会長	
4	高橋 悦子	陣山老連合・民児協	会長	
5	河本 廣明	スポーツ推進委員	会長	
6	戸小尾 博子	民生委員・児童委員		
7	高江 美千子	民生委員・児童委員		
8	比恵島 百合子	食生活改善推進委員		
9	永野 洋子	黒崎第二自治区会	会計	
10	中川 理洋	地域ボランティア		広報部長
11	仲村 マサ子	地域ボランティア		広報会計
12	岩見 虎夫	地域ボランティア		地域交流部会副部長
13	三宮 恵美子	地域ボランティア		地域交流部会会計
14	伊藤 総子	陣山老人クラブ連合会	副会長	
15	森本 新二	陣山老人クラブ連合会	副会長	
16	岡村 瞳	ママとも広場	代表	
17	長岡 奈留美	ママとも広場	スタッフ	民生委員・児童委員
18	石橋 寿子	陣山市民センター	館長	
19	大坪 幸夫	陣山校区社会福祉協議会	事務局長	

2 陣山校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R3年7月31日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動計画とは ・計画策定について意見交換 ・策定委員会構成メンバー検討
2	R3年9月18日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定について意見交換 ・策定委員会開催スケジュールについて
3	R3年10月24日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業項目の洗い出し ・地域の現状把握や課題の抽出について
4	R3年11月7日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・体系図(前回)の確認 ・重点実施項目の実施計画づくり
5	R3年12月5日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・重点実施項目(前回)の確認 ・計画書及び概要版の構成・編集
6	R3年12月19日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書及び概要版の最終確認





社会福祉協議会のイメージキャラクター

プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)



陣山校区社会福祉協議会

〒805-0068 北九州市八幡東区桃園 3-1-1 陣山市民センター内

TEL 093-661-1657 FAX 093-661-1657

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階

TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1番 6号 ウェルとばた内

(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579

(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

